## 衛星軌道上における環境放射線検出器 CUBES データ圧縮機能の実装

広島大学理学部物理学科

高エネルギー宇宙・可視赤外天文学研究室

B176073 山口 拓真

主査:高橋 弘充

副查:三好隆博

2021年2月

#### 概要

スウェーデン王立工科大学主導で 2021 年に打ち上げ予定のキューブサット MIST (MIniature STudent satellite) に搭載される CUBES (CUBesat x-ray Explorer using Scintillators) は、衛星軌道上で環境放射線を検 出する。MIST ではデータ通信速度の制限から、放射線観測データをすべて地上に送信することができない。 そこで、地上からのコマンドで可変なデータ圧縮機能を CUBES に実装することが本研究の目的である。

CUBES の CPU である Cortex-M3 において、ビンまとめによるデータ圧縮機能を C 言語で実装した。ビ ンまとめ方式は、全エネルギー帯域で同じビン幅を設定する(等間隔)方式と、高エネルギー帯域ほどビン 幅を広く設定するログテーブル方式の 2 つである。図 1 では、2048 ビンある元データを示しており、図 2 では、元データを 128 ビンに圧縮したシミュレーション結果を示している。



図 1: 元データ



図 2: 等間隔(青)、テーブル(赤) ビンまとめ

# 目次

第1章	序論	4
1.1	背景	4
1.2	研究目的	4
1.3	衛星軌道上の放射線環境....................................	5
	1.3.1 宇宙線	5
	1.3.2 地磁気と荷電粒子	5
	1.3.3 二次宇宙線	6
	1.3.4 X線	6
	1.3.5 γ線	7
1.4	無機結晶シンチレータによる放射線測定	7
	1.4.1 無機結晶シンチレータの発光機構	7
	1.4.2 MPPC 検出器	8
第2章	CUBES における放射線測定	9
2.1	構成とミッション....................................	9
2.2	放射線測定の流れ....................................	10
2.3	ヒストグラムデータの処理....................................	10
	2.3.1 Citiroc ASIC • Dual ADC	10
	2.3.2 Histo-RAM	11
	2.3.3 APB • Cortex-M3	12
第3章	データ圧縮プログラムの実装	13
3.1	データ圧縮の目標....................................	13
3.2	ビン二ングによるヒストグラムデータの圧縮.................	13
3.3	実装場所の検討	14
3.4	等間隔ビン二ング機能の開発....................................	14
	3.4.1 等間隔ビンニングの処理の流れ	14
	3.4.2 等間隔ビンニングシミュレーション結果	15
3.5	テーブルビン二ング機能の開発....................................	17
	3.5.1 テーブルビン二ングの処理の流れ	17
	3.5.2 テーブルビン二ングシミュレーション結果	19
3.6	ビンニング機能の実装	20
	3.6.1 ビンニング後のデータ量	20

	3.6.2 6 ヒストグラムに対応したビン二ング機能の開発と実装	21
	3.6.3 ハードウェアを用いたシミュレーション方法	21
	3.6.4 ハードウェアを用いたシミュレーション結果	22
第4章	まとめと今後	25
4.1	まとめ	25
4.2	今後の課題	25
付録A		26

# 図目次

1	元データ	1
2	等間隔(青)、テーブル(赤)ビンまとめ..............................	1
1.1	MIST イメージ [2]	4
1.2	宇宙線のエネルギースペクトル [6] ................................	5
1.3	地表の磁場強度分布 [7]	6
1.4	<sup>137</sup> Cs の放射性壊変 [5]	7
1.5	無機シンチレータの発光機構 [9]	8
1.6	MPPC のフォトンカウンティング [8]	8
2.1	CUBES PBC	9
2.2	<b>CUBES</b> 放射線測定の流れ [4]	10
2.3	ADC によるアナログデジタル変換 [4]	11
2.4	ヒストグラムデータの処理過程 [3] ...................................	12
3.1	シミュレーションに用いた階段状ヒストグラム..............	16
3.2	シミュレーションに用いた線源 <sup>137</sup> Cs のエネルギースペクトル	17
3.3	bin_config(各グラフのヘッダーに記載)の値に対応した等間隔ビン二ングのシミュレーショ	
	ン結果	17
3.4	テーブルビン二ングにおける carry_over	18
3.5	bin_config(各グラフのヘッダーに記載)の値に対応したテーブルビン二ングのシミュレー	
	ション結果	20
3.6	ハードウェアを用いたシミュレーションにおけるデータ送受信の流れ	21
3.7	ハードウェアを用いたシミュレーションの様子.............................	22
3.8	ハードウェアを用いたシミュレーション結果 Ch.31,HG bin_config=2(左)、LG bin_config=0	
	(右)	23
3.9	ハードウェアを用いたシミュレーション結果 Ch.16,HG bin_config=4(左)、LG bin_config=1	
	(右)	23
3.10	ハードウェアを用いたシミュレーション結果 Ch.0,HG bin_config=5(左)、LG bin_config=3	
	(右)	24

## 第1章 序論

### 1.1 背景

MIST (MIniature STudent satellite) は、スウェーデン王立工科大学主導のプロジェクトで製作されている キューブサット(数 kg 程度の超小型人工衛星)であり、そのサイズは 10×10×30 cm である。打ち上げは 2021 年を予定しており、MIST の構成とイメージをそれぞれ表 1.1、図 1.1 に示す。

MIST に搭載される CUBES (CUBesat x-ray Explorer using Scintillators) は、衛星軌道上の環境放射線を測 定する検出器である。CUBES に使用されている GAGG<sup>1</sup>と MPPC 検出器、ASIC<sup>2</sup>は宇宙での使用経験がな く、放射線測定を通して、多くの陽子が衝突する衛星軌道上の環境での可用性の検証もミッションの目的 である。

名称	説明
CubeProp	推進システムプロトタイプ
RATEX-J	質量分析計
Piezo LEGS	圧電リニアモーター
CUBES	放射線バックグラウンド測定器
SiC in Space	SiC オペアンプ
MoreBac	衛星軌道上でのバクテリア蘇生
SEUD	エラートラップ



図 1.1: MIST イメージ [2]

#### 表 1.1: MIST 構成 [2]

### 1.2 研究目的

MIST のようなキューブサットでは、地上に放射線観測データをすべて送信できるほどデータ通信速度に 余裕がなく、送信前にデータを圧縮する必要がある。一方で、衛星軌道上のエリアやエネルギースペクトル の帯域によっては、できるだけ重要なデータを圧縮せずに送信することが望ましい場合もある。したがっ て本研究では、地上から受信したコマンドに応じた可変なデータ圧縮機能を CUBES に実装することが目的 である。

<sup>&</sup>lt;sup>1</sup>無機結晶シンチレータ  $Gd_3Al_2Ga_3O_{12}$ 

<sup>2</sup>特定の用途のために設計された集積回路

## 1.3 衛星軌道上の放射線環境

放射線には、荷電粒子、陽子、電子、中性子などからなる高エネルギー粒子線と、X線やγ線の短波長 電磁波がある。この節では、CUBESで測定する宇宙線やX線、γ線について説明する。

#### 1.3.1 宇宙線

宇宙空間には、(一次)宇宙線と呼ばれる高エネルギー粒子が飛び回っている。観測される宇宙線の割合は(電荷を持たない $\gamma$ 線、宇宙ニュートリノなどは除く)、陽子が約 89%、 a 線が約 10%、これらより重い原子核が約 1%であり、残りのほとんどを電子が占める。図 1.2 に、宇宙線のエネルギースペクトルを示す。そのエネルギー帯域は、 $10^8 \sim 10^{20}$  eV のオーダーであり、その起源としては約  $10^9$  eV が太陽、 $10^9 \sim 10^{15}$  eV が銀河系内、 $10^{18} \sim$  eV が銀河系外と考えられている。また、観測される宇宙線の個数は、エネルギーが高くなるほど少なくなる。



図 1.2: 宇宙線のエネルギースペクトル [6]

#### 1.3.2 地磁気と荷電粒子

地磁気(地球の磁場)は、地下およそ 2266 km にある外核の対流運動によって発生する。これは、外核 の主成分である導電性の高い鉄が高温の融解状態で存在し、流体運動で電流を生じることに起因する。図 1.3 に、地表の磁場強度分布を示す。図中の紫色の部分は特に磁場が弱い帯域であり、南大西洋地磁気異常 帯と呼ばれる。南大西洋地磁気異常帯や極地においては、地磁気の高度が低くなっているため、荷電宇宙線 が数多く存在する。一方で赤道付近においては、地磁気の高度が他に比べて高く、荷電宇宙線が磁力線の回 りにトラップされることで、衛星軌道上への侵入を抑制している。



図 1.3: 地表の磁場強度分布 [7]

#### 1.3.3 二次宇宙線

衛星軌道上における放射線は、二次宇宙線によるものが支配的である。二次宇宙線は、地球の大気圏に 侵入した一次宇宙線が大気中の窒素や酸素の原子核と衝突することによって生成する。衝突後の二次宇宙 線には、陽子、中間子、パイ中間子、ミュー粒子などがある。これらの二次宇宙線はさらに他の原子核と衝 突し、多数の二次粒子を生成させる。

#### 1.3.4 X線

- **制動 X 線** 高速な電子が散乱され方向を変えるとき、もしくは減速されるとき制動 X 線を放出する。制動 X 線のエネルギーは、連続スペクトルである。
- 特性 X 線 原子の軌道電子は、クーロン力によって束縛されている。放射線の照射などによって励起した軌 道電子が基底状態に戻るとき、もしくは電離した電子の空席を埋めるために外側の電子が遷移したと き、軌道エネルギーの差に相当する特性 X 線を放出する。特性 X 線のエネルギーは、軌道エネルギー の差によって決定するため、離散的な値となる。
- **シンクロトロン放射** 磁場によって拘束された電子は磁力線の回りを円運動しながら、電磁波を放出する。 特に、電子の速度が光速に近い場合をシンクロトロン放射と呼ぶ。

#### **1.3.5** γ線

ガンマ遷移 アルファ壊変やベータ壊変といった放射性崩壊後の原子核が、励起状態から安定な準位に遷移 するとき、エネルギーを光子として放射する。この機構がγ線遷移であり、放射される光子がγ線で ある。本研究のシミュレーションで用いた<sup>137</sup>Csのガンマ崩壊を例として、図 1.4 で説明する。



図 1.4:<sup>137</sup>Csの放射性壊変 [5]

<sup>137</sup>Cs は、ベータ壊変によって 95 %が準安定同位体の <sup>137m</sup>Ba に、残りの 5 %が基底状態の <sup>137</sup>Ba とな る。その後、<sup>137m</sup>Ba が <sup>137</sup>Ba へとガンマ遷移するとき、約 662 keV の γ 線を放射する。

#### 1.4 無機結晶シンチレータによる放射線測定

CUBES に搭載する GAGG と本研究のソフトウェア動作検証のために用いた CsI は、無機結晶シンチレー タである。この節では、無機結晶シンチレータの発光原理と、MPPC による光子検出の機構ついて説明する。

#### 1.4.1 無機結晶シンチレータの発光機構

図 1.5 に示すように、無機結晶シンチレータ内の電子のエネルギー状態は、格子上に束縛されている価 電子帯、結晶内を自由に移動する伝導帯、そして電子の存在しない禁制帯に分かれる。放射線の入射により 価電子帯の電子が励起されると、伝導帯とその下部にある幅数 10 eV ほどの励起子帯に自由電子が移動し、 価電子帯には正孔が残る。その後、伝導帯の電子が価電子帯に戻るとき、そのエネルギーギャップに相当す る波長のシンチレーション光を放出する。また、結晶に活性体が添加されているときは、禁制帯内に特別な エネルギー準位を形成する。この場合、励起子帯にある電子と正孔が静電的に結合した励起子、電離した電 子や正孔によって活性体が励起状態へと遷移し、それが基底状態に戻るとき、シンチレーション光子を放 出する。無機結晶シンチレータにおいては、この活性体の励起が主な発光の要因である。



図 1.5: 無機シンチレータの発光機構 [9]

#### 1.4.2 MPPC 検出器

MPPC (Multi-Pixel Photon Counter) は、フォトンカウンティング(光子計測)デバイスである。MPPC のフォトンカウンティングのイメージを、図 1.6 に示す。MPPC のフォトンカウンティングは、1 ピクセルに 1 つのフォトンが入ると、それに応じたパルスを出力する機構である。また、複数のピクセルでフォトンが 検出された場合は、同じパルスが重ね合わされ、検出したフォトン数に応じた波高値を出力する。

		]
<b>190000</b>		

図 1.6: MPPC のフォトンカウンティング [8]

## 第2章 CUBESにおける放射線測定

### 2.1 構成とミッション

CUBES は地球低軌道における環境放射線検出器であり、国際宇宙ステーションと同様のおよそ 300~500 km の高度を予定している。CUBES の主な構成は 1cm 角の GAGG、MPPC、Citiroc ASIC(Weeroc 社製 Citiroc 製品)、ADC(アナログデジタル変換回路)、SoC (System on a Chip)である。それらを PBC(プリン ト基板)に設置した CUBES PBC の写真を、図 2.1 に示す。CUBES PBC には、図中にある黄色の GAGG シ ンチレータと MPPC 検出器が 3 つ配置されており、CUBES は CUBES PBC が 2 セットで構成される。した がって、GAGG シンチレータは合計で 6 個搭載される。



#### 図 2.1: CUBES PBC

以下では、CUBES のミッションについて説明する。衛星軌道上の放射線強度や性質は、衛星の位置に よって大きく異なる。1.3.2 で述べたように、赤道付近では宇宙線の個数が少ない一方で、極地や南大西洋 地磁気異常帯では荷電粒子である陽子や電子が数多く存在する。この環境は、太陽活動などの影響により 随時変化しているため、CUBES によって最新のデータを取得する。また、宇宙での使用経験のない GAGG シンチレータや ASIC の可用性を検証することもミッションの1つである。これらの測定は、CUBES で観 測された放射線のヒストグラムデータを地上に送信することで実現する。したがって次の節では、放射線 データを地上に送信するまでの工程を説明する。

### 2.2 放射線測定の流れ

CUBES の放射線測定の流れを表したダイアグラムを、図 2.2 に示す。観測された放射線をデータとして 地上に送信するまでの工程は、以下のような流れである。

- 1. GAGG シンチレータによって、X 線やガンマ線が可視光へと変換される。
- 2. MPPC で光子を検出し、光子数に応じたパルスを出力する。
- Citiroc ASIC でパルスの波高整形と増幅を行う。
   ASIC ではスレッシュホールド(閾値となる電圧)を設定することができ、その電圧以上のエネルギー をもったパルスだけをアナログデジタル変換することが可能である。
- 4. ADC によってアナログ信号をデジタル信号へと変換する。
- 5. SoC 内部の FPGA により、1 イベントごとにデータが蓄積し、Histo-RAM でヒストグラムを作成する。
- 一定時間を積分した後、SoC 内部の CPU である Cortex-M3 でヒストグラムデータを処理し、インター フェースである MSP(MIST Space Protocol) を介して CUBES 外部の OBC (On-Board Computer) に送 信する。

OBC では、地上へのデータ送信や地上からのコマンド受信などを行っている。



図 2.2: CUBES 放射線測定の流れ [4]

スウェーデン王立工科大学では、CUBES を地上で動作させる際に衛星 OBC を介さず、オペレーターと して Weeroc 社製のソフト (Citiroc UI) を利用している。

## 2.3 ヒストグラムデータの処理

CUBES の放射線観測によって取得されたヒストグラムデータは、図 2.2 で示した処理の工程を通して地 上に送信される。この節では、1 つの CUBES PBC における場所ごとのデータ処理過程について説明する。

#### 2.3.1 Citiroc ASIC • Dual ADC

Citiroc ASIC と Dual ADC では、MPPC からのパルスを以下のような流れで処理する。

- 1. 電荷信号を電圧信号へ変換する。MPPC からの 1 入力につき、増幅率の高い HG (High Gain) と低い LG (Low Gain) の2つの電圧信号を出力する。ASIC では、32 個の MPPC 信号を処理することができ、 それぞれから hg, lg を出力するため、計 64 信号を処理する。
- 2. 計 64 の HG, LG 信号のいずれについて、スレッシュホールドを超えたエネルギーの信号が MPPC から検出されると、全 64 信号の電圧値をピークホールドする。
- 3. ピークホールドした電圧値をアナログ値として、1 チャンネル毎に HG, LG を 1 セットとして、ADC に出力する。
- ADC におけるアナログデジタル変換の機構を、図 2.3 に示す。図中では、ASIC から出力された 2 つ (HG と LG) のピンを out\_hg、out\_lg、波形を読み取るタイミングを clk\_read としている。ASIC のピ ンである out\_hg と out\_lg から出力された電圧のアナログ値は、ADC において clk\_read の 1 サイクル (<200 ns)の間に、12 bits のデジタル値へと変換され、それぞれが FPGA に出力される。32 個の入 力を Ch.0-Ch.31 とした際に、CUBES で 3 個の GAGG が接続されているチャンネルは Ch.0、Ch.16、 Ch.31 である。



図 2.3: ADC によるアナログデジタル変換 [4]

#### 2.3.2 Histo-RAM

ADC から出力された HG(高ゲインで増幅された信号)と LG(低ゲインで増幅された信号)は、FPGA 内の Histo-RAM に蓄積する。Histo-RAM では、HG と LG のそれぞれ 3 チャンネル (Ch.0、Ch.16、Ch. 31) から書き込まれたデータにより、合計 6 ヒストグラムが作成される。このとき最下位の 1 ビットを削除する ビットシフトによって、12 bits (4096 ビン)のチャンネルは 11 bits (2048 ビン)に変換される。それぞれのエ ネルギー帯域としては、LG では 0~1 MeV、HG では 0~300 keV を予定している。1 つのヒストグラムは 2048 ビンで構成され、1 ビンあたり 2 bytes の容量(0~65535 の値域)をもつ。ここまでで述べた Histo-RAM におけるデータ構成を、表 2.1 に示す。ヘッダー情報を含めると、1 サイクル(60 秒積分)のデータ取得に おけるデータ容量は、**24832 bytes** である。

バイトインデックス	バイト数	内容
0~255	256	ヘッダー情報
256~4351	4096	ヒストグラム (ASIC Ch.0) HG
4352~8447	4096	ヒストグラム (ASIC Ch.0) LG
8448~12543	4096	ヒストグラム (ASIC Ch.16) HG
12544~16639	4096	ヒストグラム (ASIC Ch.16) LG
16640~20735	4096	ヒストグラム (ASIC Ch.31) HG
20736~24831	4096	ヒストグラム (ASIC Ch.31) LG

表 2.1: Histo-RAM におけるデータの構成 [4]

#### 2.3.3 APB · Cortex-M3

1 サイクルのデータ取得が完了すると、APB の制御によって Histo-RAM のヒストグラムデータが読み取ら れる。その後、SoC 内の CPU である Cortex-M3 でデータ処理が行われる。Histo-RAM から APB (Advanced Peripheral Bus) を介して、Cortex-M3 で行われるデータ処理の過程を、図 2.4 に示す。図のように Histo-RAM では、データ幅を 2 bytes から 4 bytes (32 bits) にシフトさせ、APB でそのデータを読み取る。さらに Cortex-M3 では、それらのデータを 1 bytes ごとに分けて、OBC へと送信する。



図 2.4: ヒストグラムデータの処理過程 [3]

## 第3章 データ圧縮プログラムの実装

### 3.1 データ圧縮の目標

CUBES の稼働時間は1サイクル(4日間)あたり14時間である。また、1回のデータ取得にかかる時間 は約61秒(60秒の積分時間+データ処理 <1秒)であることから、1サイクルあたりのデータ取得回数を 以下のような計算で求めることができる。(小数点以下切り上げ)

$$(14 \times 60 \times 60)/61 \simeq 827$$
 (3.1)

よって、1台の CUBES PBC が OBC で使用可能なデータストレージ容量を A bytes とすると、1回のデー タ取得で保存できる最大のヒストグラムデータ量と1ヒストグラムあたりのビン数を、以下のような計算 で導出することができる。

ヒストグラムデータ量 = A/827 bytes 
$$(3.2)$$

ヒストグラムデータにはヘッダー情報が 256 bytes あり、1 ビンあたり 2 bytes のデータ量をもつヒストグラ ムが 6 つ作成されるから、

ビン数 = 
$$(A/827 - 256)/(2 \times 6)$$
 bins (3.3)

また MIST の通信速度には、ダウンリンク が最大 9.6 kbps と制限があり、それによって CUBES PBC が 使用できるデータストレージ容量は、2 MB、2.5 MB、3 MB の 3 つが想定されている。[1] それぞれに対応 したデータ量と 1 ヒストグラムあたりのビン数を、表 3.1 に示す。

データストレージ容量	ヒストグラムデータ	ビン数
(bytes)	(bytes)	(bins)
2,000,000	2,418	180
2,500,000	3,022	230
3,000,000	3,627	280

表 3.1: データストレージ容量に対して取得可能なヒストグラムデータ量とビン数

2.3.2 で述べたように、圧縮前のヒストグラムデータは 24832 bytes であり、表 3.1 で示した取得可能な データ量を超過している。したがって、最も少ないデータストレージ容量では 2418 bytes 以下、最も多い 容量では 3627 bytes 以下までデータを圧縮することが目標となる。

### 3.2 ビンニングによるヒストグラムデータの圧縮

ヒストグラムデータの圧縮は、複数のビンを1つのビンにまとめる**ビンニング**で行っており、その処理 の流れを以下に示す。 1. 地上から受信したコマンドの値によって、各ヒストグラムのビンニング方式を決定する。

2. それぞれのビンニング方式で定義されているビン幅の範囲で、カウント数の総和をとる。

3. カウント数の総和をビン幅で割り、平均をとる。

4. 導出した値を新たなデータとして代入する。

5. 全てのヒストグラムデータをビンニングするまで、2.~4. の行程を繰り返す。

ビン幅を決定するビンニング方式には、**等間隔ビンニング**とテーブルビンニングの2パターンを採用している。等間隔ビンニングにおいては、全エネルギー帯域でビン幅を一定としている。一方でテーブルビン ニングにおいては、テーブルを用いてビン幅をログスケールに設定し、高エネルギー帯域ほどビン幅を広 くしている。それぞれのビンニング方式における詳しい処理の流れについては、3.4.1 と 3.5.1 で述べる。

#### **3.3** 実装場所の検討

2.2 で述べたように、CUBES のデジタル処理は FPGA の Histo-RAM と CPU で行われる。したがってこ れらを比較することで、ヒストグラムデータの圧縮機能を実装する場所を決定する。

表 3.2 に実装場所の優位性を比較した結果を示す。CUBES の CPU においては、1 秒より小さいオーダー で処理が可能な見込みであり、データ取得のサイクルに影響を及ぼすほどの処理時間ではないと考えられ る。実際にハードウェアを用いて検証した処理時間については、3.6.4 で説明する。FPGA においては、複 数の処理を並列して行うことができるため、CPU よりも高速な処理が可能である。よって処理時間におい ては、両者とも問題ないと考えられる。

改修規模については図 2.4 で示したように、OBC に近い CPU の Cortex-M3 で、機能の実装をより柔軟 に行うことが可能である。一方で、Histo-RAM から OBC までには APB など複数の処理過程があるため、 FPGA での実装は難しいと考えられる。したがって、データ圧縮機能を実装する場所を SoC 内部の CPU で ある、Cortex-M3 に決定した。

場所	処理時間	改修規模	実装
CPU	0	0	0
FPGA	O	×	×

表 3.2: 実装場所の優位性の比較

### 3.4 等間隔ビンニング機能の開発

#### 3.4.1 等間隔ビンニングの処理の流れ

等間隔ビンニングの処理過程を、巻末の付録 ListingA.1 に示す。ソースコードでは、ビンニング方式を 決定するコマンドである引数を bin\_config、ビン幅を bin\_size、ビン数を num\_bins、総データ量を len と定 義している。以下では、ListingA.1 で行われている処理過程について説明する。

- **1 行目** bin\_config(引数)= 1, 2, 3, 4, 5, 6 のとき、等間隔ビンニングを実行する。 bin\_config = 0 のときはビンニングを行わない。
- **3、4行目** bin\_size(ビン幅)と num\_bins(ビン数)は、bin\_config のビットシフトによって決定する。 bin\_config = N とすると、bin\_size = 2<sup>N</sup>、num\_bins = 2048/bin\_size=2048/2<sup>N</sup> となる。
- **7~10 行目** bin\_size の範囲で総和をとる。 ビットシフトとビット論理積を用いて、4 bytes の幅をもつ APB のヒストグラムデータから、2 bytes のビンを取り出している。
- 11 行目 ビンの総和をビットシフトで平均化する。
- 12、13 行目 2.4 で示した方式で、平均化した値を send\_data\_payload (OBC に送信するデータ) に代入する。
- 5~14 行目 for ループで num\_bins の回数繰り返す。

15 行目 1 ヒストグラムのデータ量を len (総データ量) に加算する。

このように、bin\_config に対応して決まる bin\_size、1 ヒストグラムあたりの num\_bins の値を表 3.3 に示す。

bin_config	bin_size	num_ bins
1	2	1024
2	4	512
3	8	256
4	16	128
5	32	64
6	64	32

表 3.3: 等間隔ビンニングにおける引数、ビン幅、1 ヒストグラムあたりのビン数

#### 3.4.2 等間隔ビンニングシミュレーション結果

初めに、等間隔ビン二ングのシミュレーションとして、チャンネル 0~2047 の階段状に増加するヒスト グラムを用いたビン二ングを行った。このヒストグラムは、0 からカウント数が 8 ずつ増加し、そのグラフ を図 3.1 に示す。



図 3.1: シミュレーションに用いた階段状ヒストグラム

シミュレーションによって得たビンニング後の値を理論値と比較することで、等間隔ビンニングが正し く機能しているかどうかを確認した。その結果の初めの部分を、表 3.4 に示す。

理論値の導出方法を以下のように行った。ビンニング後の値は、公差8の等差数列の和を項数で割った ものとして考えることができる。このとき、初項と末項は総和をとるチャンネルの最初と最後の値を8倍 したものであり、それぞれ8×ch<sub>f</sub>、8×ch<sub>l</sub>と表す。また、総和をとる項数はbin\_size(ビン数)の値に対応 することから、総和は以下のような計算式となる。

$$\frac{\text{bin_size} \times 8 \times (\text{ch}_{\text{f}} + \text{ch}_{\text{l}})}{2}$$
(3.4)

さらに bin\_size で割り平均化するので、理論値は 4×(ch<sub>f</sub>+ch<sub>l</sub>)を用いて導出でき、この理論値どおりの出 力となることを確認した。

bin_config	理論値	出力値
1	$4 \times (0+1) = 4$	4
2	$4 \times (0+3) = 12$	12
3	$4 \times (0+7) = 28$	28
4	$4 \times (0+15) = 60$	60
5	$4 \times (0 + 31) = 124$	124
6	$4 \times (0+63) = 252$	252

表 3.4: 等間隔ビンニングにおける理論値と出力値の比較

次に、CsI シンチレータと MPPC 検出器で取得した<sup>137</sup>Cs エネルギースペクトルを用いて、等間隔ビンニン グのシミュレーションを行った。ビンニング前のエネルギースペクトルを、図 3.2 に示す。また、bin\_config に対応した、ビンニング後のエネルギースペクトルを図 3.3 に示す。これらのヒストグラムから、チャンネ ル数が引数の値に応じて減少しており、ビンニングによってデータ圧縮されていることが確認できる。さ らに、最もデータ圧縮された bin\_config=6 のヒストグラムにおいても、<sup>137</sup>Cs のガンマ線ピークの概形を再 現できている。



図 3.2: シミュレーションに用いた線源 <sup>137</sup>Cs のエネルギースペクトル



図 3.3: bin\_config(各グラフのヘッダーに記載)の値に対応した等間隔ビンニングのシミュレーション結果

## 3.5 テーブルビンニング機能の開発

#### 3.5.1 テーブルビンニングの処理の流れ

テーブルビンニングの処理過程を、付録 ListingA.2 に示す。今回のテーブルビンニングでは、高エネル ギー帯域になるにつれビン幅がログスケールで増大するテーブルを設定し、低エネルギー帯域で詳細なエ ネルギースペクトルを取得することが可能となる。ログスケールに増大するビン幅は、カウント数の総和 をとるチャンネルの範囲をテーブルで区切ることによって決定され、以下でその詳細な定義について説明 する。また、ソースコードでの table の値を付録 ListingA.3 に示す。

bin\_config = 11のとき table1を設定し、そのビン幅は {1, 1, 2, 4}のように増大する。
 各ビン幅に対して 256 ビンを設定するため、ビン数は 4×256 = 1024 となる。

- bin\_config = 12のとき table2を設定し、そのビン幅は {1, 1, 2, 4, 8, 16, 32, 64} のように増大する。
   各ビン幅に対して 16 ビンを設定するため、ビン数は 8×16 = 128 となる。
- bin\_config = 13 のとき、シミュレーション用の table3 を設定する。
  ビン幅は {1, 1, 2, 4, 7, 8, 9, 31, 32, 33, 63, 64, 65} のように増大し、1 より大きい奇数のビン幅を含んでいる。
  {1, 1, 2} のビン幅に対して 256 ビン、{4} のビン幅に対して 178 ビン、{7, 8, 9, 31, 32, 33, 63, 64, 65} のビン幅に対して 1 ビンを設定するため、ビン数は 3×256+1×178+9×1=955 となる。

以下では、ListingA.2 で行われている処理過程について説明する。

**1 行目** bin\_config(引数) = 11, 12, 13 のとき、ログスケールビン二ングが実行される。

5~16 行目 bin\_config の値に応じて、table を決定する。

bin\_config = 11 のとき table1、bin\_config = 12 のとき table2、bin\_config = 13 のとき table3 をポインタ で渡す。

また sizeof 演算子によって、設定される table 全体のメモリサイズを取得する。

それを table の1要素あたりのメモリサイズで割ることで、tableの要素数を算出する。

さらに、tableの要素数から1引いたものを、num\_bin(ビン数)として代入する。

18 行目 table によって定義されている bin\_size (ビン幅)を決定する。

**19~66 行目** table によって指定された範囲で、ヒストグラムデータの総和をとり、その後ビンの総和を bin\_size で割り、平均化する。

このとき、carry\_overと bin\_size の値で処理を分けており、その工程を図 3.4 に示す。

図では例として、APB のヒストグラムデータを 0×00 から、それぞれ bin\_size = 6(左)と bin\_size = 5(右)の範囲で総和をとる場合を考える。

bin\_size = 6 で総和をとったとき、0×08 まで全てのビンを取り出すことができる。

- 一方で、bin\_size = 5 で総和をとったとき、ビット論理積によって Bin4 までが取り出され、Bin5 が残ってしまう。
- このように、前の処理のビンが残っている状態のときを、carry\_over = 1 とすることで判別している。 (carry\_over = 0 のときは、前の処理でビンが残っていないことを表す。)

 2 bytes

 Bin 1
 Bin 0
 0×00

 Bin 3
 Bin 2
 0×04

 Bin 5
 Bin 4
 0×08



図 3.4: テーブルビン二ングにおける carry\_over

carry\_over の有無は、前回の処理での carry\_over と bin\_size の偶奇によって決定することができ、表 3.5 にその内訳を示す。

前の carry_over	bin_size	carry_over
0	偶数	0
0	奇数	1
1	偶数	1
1	奇数	0

表 3.5: carry\_over の判別

さらに bin\_size が奇数のときは、その値が1の場合と、そうでない場合で処理を分けている。 bin\_size = 1 のときは複数のビンで総和をとる必要がないため、carry\_over = 1 かつ bin\_size = 1 のとき は、前回 carry\_over として残ったビンをビットシフトとビット論理積で取り出し、carry\_over = 0 かつ bin\_size = 1 のときは、新たにビット論理積で1ビンだけ取り出す。

67、68 行目 2.4 で示した方式で、平均化した値を send\_data\_payload に代入する。

**17~70 行目** for ループで num\_bins の回数繰り返す。

71 行目 1 ヒストグラムのデータ量を len(総データ量) に加算する。

このように、bin\_config の値に応じて決まる1ヒストグラムあたりの num\_bins を、表 3.6 に示す。

bin_config	num_ bins
11	1024
12	128
13	955

表 3.6: テーブルビン二ングにおける引数とビン数

#### 3.5.2 テーブルビンニングシミュレーション結果

図 3.2 に示した<sup>137</sup>Cs のエネルギースペクトルを用いて、テーブルビン二ングのシミュレーションを行った結果を図 3.5 に示す。これらのヒストグラムから、等間隔ビン二ングと同様にチャンネル数が引数の値に応じて減少しており、ビン二ングによってデータ圧縮されていることが確認できる。また、図 3.3 で示したチャンネル数が同じ bin\_config=1,4 のヒストグラムと比較すると、ログスケールのテーブルを用いたビン二ングでは低エネルギー帯域のエネルギースペクトルを詳細に再現できていることが確認できる。一方で高エネルギー帯域においては、特に bin\_config=12 のヒストグラムで、ガンマ線ピークの概形が失われていることが分かる。

また、シミュレーション用のテーブルを設定した bin\_config=13 においては、carry\_over に応じた特別な 処理が必要であったが、問題なくエネルギースペクトルの圧縮を行うことができた。bin\_config=11,12 と同 様に、チャンネル数が 955 まで減少しており、低エネルギー帯域のエネルギースペクトルを詳細に再現す ることができた。



図 3.5: bin\_config (各グラフのヘッダーに記載)の値に対応したテーブルビン二ングのシミュレーション結果

## 3.6 ビンニング機能の実装

#### 3.6.1 ビンニング後のデータ量

1回のデータ取得で作成される6ヒストグラムを、同じ方式でビンニングするとき、bin\_configの値とビン数、総ヒストグラムデータ量は表 3.7 のようになる。

引数	ビン数	総データ量
1	1024×6	12544
2	512×6	6400
3	256×6	3328
4	128×6	1792
5	64×6	1024
6	32×6	640
11	1024×6	12544
12	128×6	1792
13	955×6	11716

表 3.7: 各ビンニング方式における引数、ビン数、総データ量

3.1 で述べたように、最も少ないデータストレージ容量では、1 つの CUBES PBC で **2418 bytes 以下**まで ヒストグラムデータを圧縮する必要がある。したがって、**bin\_config = 4, 5, 6, 12** に対応したビンニング方 式では、データ圧縮の目標を達成しており、地上から送信するコマンドの決定の目安となる。

#### 3.6.2 6 ヒストグラムに対応したビンニング機能の開発と実装

CUBES に実装するビンニング機能のソースコードを、ListingA.4 に示す。ソースコードでは、地上から ビンニング方式を決定するコマンドである bin\_config を要素数が 6 つの配列で定義し、それぞれが 1 ヒス トグラムのビンニング方式を決定する。すなわち、1 回のデータ取得で作成される 6 つのヒストグラム(3 個の MPPC それぞれが、hg, lg の 2 ヒストグラムを持つ)を、各ヒストグラムごとに、ビン幅やビン数の異 なったビンニング方式でビンニングすることが可能である。以下では、ListingA.4 で行われている処理過程 について説明する。

19 行目~149 行目 テーブルを設定する。

162 行目 ~166 行目 ヒストグラムのヘッダー情報を send\_data\_payload に代入する。

167 行目 ヘッダー情報のデータ量を len に代入する。

- **170 行目**~268 行目 6 ヒストグラムに対応したビンニングを行う。bin\_config[i] = 1, 2, 3, 4, 5, 6 のときは 3.4.1 で説明した等間隔ビンニング、bin\_config[i] = 11, 12, 13 のときは、3.5.1 で説明したテーブルビ ンニングを行う。
- 181、198、270 行目 1 ヒストグラムのデータ量を加え、len に代入する。

169~272 行目 全てのヒストグラムをビンニングするため、6 回繰り返す。

273 行目 戻り値として、総データ量である len を返す。

#### 3.6.3 ハードウェアを用いたシミュレーション方法

ハードウェアを用いたビンニング機能のシミュレーションは、スウェーデン王立工科大学で実施される。 シミュレーションにおけるデータ送受信の流れを、図 3.6 に示す。図中の Citiroc UI は、検出器の設定コマ ンドを送信したり、データを受信して表示するために利用する。このオペレータは、地上での試験の際に利 用している模擬システムである。Arduino Due は、MIST 衛星で地上との通信を制御する OBC のシミュレー ターである。Cortex-M3 は、CUBES の SoC 内にある CPU で今回ビンニング機能を実装した場所である。

また、実際に Citiroc UI と OBC シミュレータ、CUBES PBC 用いてシミュレーションを行っている様子を、図 3.7 に示す。



図 3.6: ハードウェアを用いたシミュレーションにおけるデータ送受信の流れ



図 3.7: ハードウェアを用いたシミュレーションの様子

2.3.2 で述べたように、FPGA には Ch.0、Ch.16、Ch.31 が接続されており、それぞれ HG と LG を含んだ 合計 6 ヒストグラムが作成される。ハードウェアを用いたシミュレーションでは、1 ヒストグラムごとに異 なったビンニング方式で圧縮を行い、Citiroc UI で受信されたヒスグラムデータが正確にビンニングされて いることを確かめる。

#### 3.6.4 ハードウェアを用いたシミュレーション結果

bin\_config=0,1,2,3,4,5 をコマンドとして、等間隔ビンニング機能のシミュレーションを行った。テーブル ビンニングのシミュレーションは、今後行う予定である。ハードウェアを用いたシミュレーション結果と して、HG と LG のヒストグラムを図 3.8 (Ch.31)、図 3.9 (Ch.16)、図 3.10 (Ch.0) に示した。ここでは、元の ビン数である 2048 ビンを保持して表示するため、ビンまとめされたビンには、ビン幅の分だけ同じ値を補 完する。

これらの図が示すように、1 ヒストグラムごとにビンニング方式を決定するデータ圧縮が行われている ことが分かる。さらに、bin\_config の値が増大するにつれて、ヒストグラムのビン数が減少し、データの圧 縮を確認できる。

また結果から、Individual DAQ time(1回のデータ取得時間)が20秒、actual acq. time(正味のデータ取得時間)が19秒であることが分かる。この差は、CUBES からデータをダウンロードする時間を1秒に設定することで生じたタイムラグであり、ビンニング機能実装後のデジタル処理が1秒未満で行われていることを示している。



図 3.8: ハードウェアを用いたシミュレーション結果 Ch.31,HG bin\_config=2(左)、LG bin\_config=0(右)



図 3.9: ハードウェアを用いたシミュレーション結果 Ch.16,HG bin\_config=4(左)、LG bin\_config=1(右)



図 3.10: ハードウェアを用いたシミュレーション結果 Ch.0,HG bin\_config=5(左)、LG bin\_config=3(右)

## 第4章 まとめと今後

#### 4.1 まとめ

本研究の目的は、衛星軌道上の環境放射線検出器である CUBES に、データ圧縮機能を実装することで あった。本研究におけるまとめを、以下に示す。

- CUBES が使用可能なデータストレージ容量まで、ヒストグラムデータを圧縮するビンニング機能を 実装することができた。
- データ圧縮には、等間隔ビンニングとテーブルビンニングの2方式を開発し、地上からのコマンドによって可変な圧縮機能を実現した。
- 実験で得た放射線観測データや実機の CUBES PBC を用いたシミュレーションを通して、ビンニング がうまく機能することを確認できた。

#### 4.2 今後の課題

本研究を通して見つかった今後の課題について、以下で述べる。

- CUBES PBC を用いたシミュレーションにおいては、等間隔ビンニングのみ検証を行ったため、今後 ハードウェアを用いたテーブルビンニングの検証を行う。
- ・線源<sup>137</sup>Csのエネルギースペクトルを用いたテーブルビンニングのシミュレーションにおいて、高エネルギー帯域のγ線ピークの概形が失われてしまう問題点があった。そこで、地上からのコマンドによって観測したいエネルギー帯域のスペクトルを詳細に取得するビンニング機能の開発が必要であると考える。例えば、<sup>137</sup>Csのエネルギースペクトルであれば、地上からのコマンドで高エネルギー帯域に小さいbin\_size(ビン幅)をシフトさせることで、詳細なγ線ピークの概形を取得することが可能となる。

また、衛星軌道上でソフトウェアの書き換えが確立すれば、用途に応じたテーブルを追加することで、 輝線構造などを詳細に取得するテーブルビン二ングを行うことも可能である。

## 付録A

Listing A.1: 等間隔ビンニング

```
1 else if (bin_config[i]<7) {</pre>
2 /* equal interval binning */
       num_bins = HISTO_NUM_BINS_GW>>bin_config[i];
3
          bin_size = 1<<bin_config[i];</pre>
4
           for (j=0; j<num_bins; j++) {</pre>
5
               bin = 0;
6
                   for (k=j*bin_size/2; k<(j+1)*bin_size/2; k++) {</pre>
7
                           bin += (histo_data[k + i*HISTO_NUM_BINS_GW/2 +
8
                                HISTO_HDR_NUM_BYTES/4]>>16 & OxFFFF)
                                               +(histo_data[k + i*HISTO_NUM_BINS_GW/2 +
9
                                                   HISTO_HDR_NUM_BYTES/4] & OxFFFF);
                   }
10
11
                   bin >>= bin_config[i];
                   send_data_payload[j*2 + 1 + len] = bin & OxFF;
12
                   send_data_payload[j*2 + len] = (bin>>8) & OxFF;
13
           }
14
       len = len + num_bins*2;
15
16 }
```

Listing A.2: テーブルビン二ング

```
else if (10<bin_config[i] && bin_config[i]<14) {</pre>
1
           /* logscale binning */
2
          unsigned char carry_over;
3
          carry_over = 0;
4
                   if (bin_config[i] == 11) {
5
                           num_bins = sizeof (table1)/sizeof (table1[0]) - 1;
6
                           table = table1;
7
                  }
8
                  else if (bin_config[i] == 12) {
9
                           num_bins = sizeof (table2)/sizeof (table2[0]) - 1;
10
                           table = table2;
11
                  }
12
                  else if (bin_config[i] == 13) {
13
                       num_bins = sizeof (table3)/sizeof (table3[0])-1;
14
                       table = table3;
15
                   }
16
17
                  for (j=0; j<num_bins; j++) {</pre>
```

18	<pre>bin_size = *(table+j+1) - *(table+j);</pre>
19	if (carry_over == 0 && bin_size%2 == 0) {
20	<pre>carry_over = 0;</pre>
21	<pre>for (k=*(table+j)/2; k&lt;*(table+j+1)/2; k++) {</pre>
22	<pre>bin = bin + (histo_data[k + i*HISTO_NUM_BINS_GW/2 +</pre>
	HISTO_HDR_NUM_BYTES/4]>>16 & OxFFFF)
23	+ (histo_data[k + i*HISTO_NUM_BINS_GW/2 + HISTO_HDR_NUM_BYTES/4] & 0
	xFFFF);
24	}
25	<pre>bin = bin/bin_size;</pre>
26	}
27	<pre>else if (carry_over == 0 &amp;&amp; bin_size%2 == 1) {</pre>
28	<pre>carry_over = 1;</pre>
29	<pre>if (bin_size != 1) {</pre>
30	<pre>for (k=*(table+j)/2; k&lt;(*(table+j+1)-1)/2; k</pre>
	++) {
31	<pre>bin = bin + (histo_data[k + i*HISTO_NUM_BINS_GW/2 +</pre>
	HISTO_HDR_NUM_BYTES/4]>>16 & OxFFFF)
32	+ (histo_data[k + i*HISTO_NUM_BINS_GW/2 + HISTO_HDR_NUM_BYTES/4]
	& OxFFFF);
33	
34	}
35	bin = bin + (histo_data[k + i*HISTO_NUM_BINS_GW
	<pre>/2 + HISTO_HDR_NUM_BYTES/4] &amp; OxFFFF);</pre>
36	
37	<pre>bin = bin/bin_size;</pre>
38	}
39	<pre>else if (bin_size == 1) {</pre>
40	k = *(table+j)/2;
41	<pre>bin = histo_data[k + i*HISTO_NUM_BINS_GW/2 +</pre>
	HISTO_HDR_NUM_BYTES/4] & OxFFFF;
42	}
43	}
44	<pre>else if (carry_over == 1 &amp;&amp; bin_size%2 == 0) {</pre>
45	<pre>carry_over = 1;</pre>
46	k = (*(table+j)-1)/2;
47	bin = histo_data[k + i*HISTO_NUM_BINS_GW/2 +
	HISTO_HDR_NUM_BYTES/4]>>16 & OxFFFF;
48	<pre>for (k=(*(table+j)+1)/2; k&lt;(*(table+j+1)-1)/2; k++) {</pre>
49	<pre>bin = bin + (histo_data[k + i*HISTO_NUM_BINS_GW/2 +</pre>
	HISTO_HDR_NUM_BYTES/4]>>16 & OxFFFF)
50	+ (histo_data[k + i*HISTO_NUM_BINS_GW/2 + HISTO_HDR_NUM_BYTES/4] & 0
	xFFFF);
51	}
52	bin = bin + (histo_data[k + i*HISTO_NUM_BINS_GW/2 +
	HISTO_HDR_NUM_BYTES/4] & OxFFFF);
53	<pre>bin = bin/bin_size;</pre>
54	}

55	<pre>else if (carry_over == 1 &amp;&amp; bin_size%2 == 1) {</pre>
56	carry_over = 0;
57	k = (*(table+j)-1)/2;
58	<pre>bin = histo_data[k + i*HISTO_NUM_BINS_GW/2 +</pre>
	<pre>HISTO_HDR_NUM_BYTES/4]&gt;&gt;16 &amp; OxFFFF;</pre>
59	<pre>if (bin_size != 1) {</pre>
60	<pre>for (k=(*(table+j)+1)/2; k&lt;*(table+j+1)/2; k</pre>
	++) {
61	bin = bin + (histo_data[k + i*
	HISTO_NUM_BINS_GW/2 + HISTO_HDR_NUM_BYTES
	/4]>>16 & OxFFFF)
62	+ (histo_data[k + i*HISTO_NUM_BINS_GW/2 + HISTO_HDR_NUM_BYTES/4]
	& OxFFFF);
63	}
64	<pre>bin = bin/bin_size;</pre>
65	}
66	}
67	<pre>send_data_payload[j*2 + 1 + len] = bin &amp; OxFF;</pre>
68	<pre>send_data_payload[j*2 + len] = bin&gt;&gt;8 &amp; 0xFF;</pre>
69	bin = $0;$
70	}
71	<pre>len = len + num_bins*2;</pre>
72	}

Listing A.3: ビンニングに用いるテーブル

1	unsigned short int table1[1025] = {0,1,2,3,4,5,6,7,8,9,10,11,12,13,14,15,16,17,
2	18,19,20,21,22,23,24,25,26,27,28,29,30,31,32,33,34,35,36,37,38,39,40,
3	41,42,43,44,45,46,47,48,49,50,51,52,53,54,55,56,57,58,59,60,61,62,63,
4	64,65,66,67,68,69,70,71,72,73,74,75,76,77,78,79,80,81,82,83,84,85,86,
5	87,88,89,90,91,92,93,94,95,96,97,98,99,100,101,102,103,104,105,106,107,
6	108, 109, 110, 111, 112, 113, 114, 115, 116, 117, 118, 119, 120, 121, 122, 123, 124,
7	125,126,127,128,129,130,131,132,133,134,135,136,137,138,139,140,141,
8	142, 143, 144, 145, 146, 147, 148, 149, 150, 151, 152, 153, 154, 155, 156, 157, 158,
9	159,160,161,162,163,164,165,166,167,168,169,170,171,172,173,174,175,
10	176,177,178,179,180,181,182,183,184,185,186,187,188,189,190,191,192,
11	193,194,195,196,197,198,199,200,201,202,203,204,205,206,207,208,209,
12	210,211,212,213,214,215,216,217,218,219,220,221,222,223,224,225,226,
13	227,228,229,230,231,232,233,234,235,236,237,238,239,240,241,242,243,
14	244,245,246,247,248,249,250,251,252,253,254,255,256,257,258,259,260,
15	261,262,263,264,265,266,267,268,269,270,271,272,273,274,275,276,277,
16	278,279,280,281,282,283,284,285,286,287,288,289,290,291,292,293,294,
17	295,296,297,298,299,300,301,302,303,304,305,306,307,308,309,310,311,
18	312,313,314,315,316,317,318,319,320,321,322,323,324,325,326,327,328,
19	329,330,331,332,333,334,335,336,337,338,339,340,341,342,343,344,345,
20	346,347,348,349,350,351,352,353,354,355,356,357,358,359,360,361,362,
21	363,364,365,366,367,368,369,370,371,372,373,374,375,376,377,378,379,
22	380,381,382,383,384,385,386,387,388,389,390,391,392,393,394,395,396,
23	397,398,399,400,401,402,403,404,405,406,407,408,409,410,411,412,413,

24	414,415,416,417,418,419,420,421,422,423,424,425,426,427,428,429,430,
25	431,432,433,434,435,436,437,438,439,440,441,442,443,444,445,446,447,
26	448,449,450,451,452,453,454,455,456,457,458,459,460,461,462,463,464,
27	465,466,467,468,469,470,471,472,473,474,475,476,477,478,479,480,481,
28	482,483,484,485,486,487,488,489,490,491,492,493,494,495,496,497,498,
29	499,500,501,502,503,504,505,506,507,508,509,510,511,512,514,516,518,
30	520,522,524,526,528,530,532,534,536,538,540,542,544,546,548,550,552,
31	554,556,558,560,562,564,566,568,570,572,574,576,578,580,582,584,586,
32	588,590,592,594,596,598,600,602,604,606,608,610,612,614,616,618,620,
33	622,624,626,628,630,632,634,636,638,640,642,644,646,648,650,652,654,
34	656,658,660,662,664,666,668,670,672,674,676,678,680,682,684,686,688,
35	690,692,694,696,698,700,702,704,706,708,710,712,714,716,718,720,722,
36	724,726,728,730,732,734,736,738,740,742,744,746,748,750,752,754,756,
37	758,760,762,764,766,768,770,772,774,776,778,780,782,784,786,788,790,
38	792,794,796,798,800,802,804,806,808,810,812,814,816,818,820,822,824,
39	826,828,830,832,834,836,838,840,842,844,846,848,850,852,854,856,858,
40	860,862,864,866,868,870,872,874,876,878,880,882,884,886,888,890,892,
41	894,896,898,900,902,904,906,908,910,912,914,916,918,920,922,924,926,
42	928,930,932,934,936,938,940,942,944,946,948,950,952,954,956,958,960,
43	962,964,966,968,970,972,974,976,978,980,982,984,986,988,990,992,994,
44	996,998,1000,1002,1004,1006,1008,1010,1012,1014,1016,1018,1020,1022,
45	1024,1028,1032,1036,1040,1044,1048,1052,1056,1060,1064,1068,1072,1076,
46	1080,1084,1088,1092,1096,1100,1104,1108,1112,1116,1120,1124,1128,1132,
47	1136, 1140, 1144, 1148, 1152, 1156, 1160, 1164, 1168, 1172, 1176, 1180, 1184, 1188,
48	1192,1196,1200,1204,1208,1212,1216,1220,1224,1228,1232,1236,1240,1244,
49	1248, 1252, 1256, 1260, 1264, 1268, 1272, 1276, 1280, 1284, 1288, 1292, 1296, 1300,
50	1304, 1308, 1312, 1316, 1320, 1324, 1328, 1332, 1336, 1340, 1344, 1348, 1352, 1356,
51	1360, 1364, 1368, 1372, 1376, 1380, 1384, 1388, 1392, 1396, 1400, 1404, 1408, 1412,
52	1416, 1420, 1424, 1428, 1432, 1436, 1440, 1444, 1448, 1452, 1456, 1460, 1464, 1468,
53	1472,1476,1480,1484,1488,1492,1496,1500,1504,1508,1512,1516,1520,1524,
54	1528, 1532, 1536, 1540, 1544, 1548, 1552, 1556, 1560, 1564, 1568, 1572, 1576, 1580,
55	1584, 1588, 1592, 1596, 1600, 1604, 1608, 1612, 1616, 1620, 1624, 1628, 1632, 1636,
56	1640, 1644, 1648, 1652, 1656, 1660, 1664, 1668, 1672, 1676, 1680, 1684, 1688, 1692,
57	1696,1700,1704,1708,1712,1716,1720,1724,1728,1732,1736,1740,1744,1748,
58	1752, 1756, 1760, 1764, 1768, 1772, 1776, 1780, 1784, 1788, 1792, 1796, 1800, 1804,
59	1808, 1812, 1816, 1820, 1824, 1828, 1832, 1836, 1840, 1844, 1848, 1852, 1856, 1860,
60	1864,1868,1872,1876,1880,1884,1888,1892,1896,1900,1904,1908,1912,1916,
61	1920,1924,1928,1932,1936,1940,1944,1948,1952,1956,1960,1964,1968,1972,
62	1976, 1980, 1984, 1988, 1992, 1996, 2000, 2004, 2008, 2012, 2016, 2020, 2024, 2028,
63	2032,2036,2040,2044,2048};
64	
65	unsigned short int table2[129] = {0,1,2,3,4,5,6,7,8,9,10,11,12,13,14,15,16,17,

	0	
66		18,19,20,21,22,23,24,25,26,27,28,29,30,31,32,34,36,38,40,42,44,46,48,
67		50,52,54,56,58,60,62,64,68,72,76,80,84,88,92,96,100,104,108,112,116,
68		120,124,128,136,144,152,160,168,176,184,192,200,208,216,224,232,240,
69		248,256,272,288,304,320,336,352,368,384,400,416,432,448,464,480,496,
70		512,544,576,608,640,672,704,736,768,800,832,864,896,928,960,992,1024,
71		1088,1152,1216,1280,1344,1408,1472,1536,1600,1664,1728,1792,1856,1920,

72 1984,2048};

74	unsigned short int	table3[956]={0,1,2,3,4,5,6,7,8,9,10,11,12,13,14,15,16,17,18,
75	19,20,21,22	,23,24,25,26,27,28,29,30,31,32,33,34,35,36,37,38,39,40,41,
76	42,43,44,45	,46,47,48,49,50,51,52,53,54,55,56,57,58,59,60,61,62,63,64,
77	65,66,67,68	,69,70,71,72,73,74,75,76,77,78,79,80,81,82,83,84,85,86,87,
78	88,89,90,91	,92,93,94,95,96,97,98,99,100,101,102,103,104,105,106,107,
79	108,109,110	,111,112,113,114,115,116,117,118,119,120,121,122,123,124,
80	125,126,127	,128,129,130,131,132,133,134,135,136,137,138,139,140,141,
81	142,143,144	,145,146,147,148,149,150,151,152,153,154,155,156,157,158,
82	159,160,161	,162,163,164,165,166,167,168,169,170,171,172,173,174,175,
83	176,177,178	,179,180,181,182,183,184,185,186,187,188,189,190,191,192,
84	193,194,195	,196,197,198,199,200,201,202,203,204,205,206,207,208,209,
85	210,211,212	,213,214,215,216,217,218,219,220,221,222,223,224,225,226,
86	227,228,229	,230,231,232,233,234,235,236,237,238,239,240,241,242,243,
87	244,245,246	,247,248,249,250,251,252,253,254,255,256,257,258,259,260,
88	261,262,263	,264,265,266,267,268,269,270,271,272,273,274,275,276,277,
89	278,279,280	,281,282,283,284,285,286,287,288,289,290,291,292,293,294,
90	295,296,297	,298,299,300,301,302,303,304,305,306,307,308,309,310,311,
91	312,313,314	,315,316,317,318,319,320,321,322,323,324,325,326,327,328,
92	329,330,331	,332,333,334,335,336,337,338,339,340,341,342,343,344,345,
93	346,347,348	,349,350,351,352,353,354,355,356,357,358,359,360,361,362,
94	363,364,365	,366,367,368,369,370,371,372,373,374,375,376,377,378,379,
95	380,381,382	,383,384,385,386,387,388,389,390,391,392,393,394,395,396,
96	397,398,399	,400,401,402,403,404,405,406,407,408,409,410,411,412,413,
97	414,415,416	,417,418,419,420,421,422,423,424,425,426,427,428,429,430,
98	431,432,433	,434,435,436,437,438,439,440,441,442,443,444,445,446,447,
99	448,449,450	,451,452,453,454,455,456,457,458,459,460,461,462,463,464,
100	465,466,467	,468,469,470,471,472,473,474,475,476,477,478,479,480,481,
101	482,483,484	,485,486,487,488,489,490,491,492,493,494,495,496,497,498,
102	499,500,501	,502,503,504,505,506,507,508,509,510,511,512,514,516,518,
103	520,522,524	,525,528,530,532,534,535,538,540,542,544,545,548,550,552,
104	554,556,558	, 500, 502, 504, 500, 508, 570, 572, 574, 576, 578, 580, 582, 584, 586,
105	500,590,592	, 534, 530, 530, 600, 602, 604, 600, 600, 610, 612, 614, 616, 610, 620, 620, 620, 620, 620, 620, 620, 62
100	656 658 660	662 664 666 668 670 672 674 676 678 680 682 684 686 688
107	690,692,694	696 $698$ $700$ $702$ $704$ $706$ $708$ $710$ $712$ $714$ $716$ $718$ $720$ $722$
100	724 726 728	730 732 734 736 738 740 742 744 746 748 750 752 754 756
1109	758 760 762	764 766 768 770 772 774 776 778 780 782 784 786 788 790
111	792 794 796	798 800 802 804 806 808 810 812 814 816 818 820 822 824
112	826,828,830	832 834 836 838 840 842 844 846 848 850 852 854 856 858
113	860,862,864	.866.868.870.872.874.876.878.880.882.884.886.888.890.892.
114	894,896,898	900 902 904 906 908 910 912 914 916 918 920 922 924 926
115	928,930,932	.934.936.938.940.942.944.946.948.950.952.954.956.958.960.
116	962,964,966	.968.970.972.974.976.978.980.982.984.986.988.990.992.994.
117	996.998.1000	),1002,1004,1006,1008,1010,1012.1014.1016.1018.1020.1022.
118	1024.1028.10	)32,1036,1040,1044,1048,1052,1056.1060.1064.1068.1072.1076.
119	1080.1084.10	)88,1092,1096,1100,1104,1108,1112,1116,1120,1124,1128,1132.
<i>.</i>	· - · , - · - · - · · · · · ·	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·

120	1136,1140,1144,1148,1152,1156,1160,1164,1168,1172,1176,1180,1184,1188,
121	1192,1196,1200,1204,1208,1212,1216,1220,1224,1228,1232,1236,1240,1244,
122	1248,1252,1256,1260,1264,1268,1272,1276,1280,1284,1288,1292,1296,1300,
123	1304,1308,1312,1316,1320,1324,1328,1332,1336,1340,1344,1348,1352,1356,
124	1360,1364,1368,1372,1376,1380,1384,1388,1392,1396,1400,1404,1408,1412,
125	1416,1420,1424,1428,1432,1436,1440,1444,1448,1452,1456,1460,1464,1468,
126	1472,1476,1480,1484,1488,1492,1496,1500,1504,1508,1512,1516,1520,1524,
127	1528,1532,1536,1540,1544,1548,1552,1556,1560,1564,1568,1572,1576,1580,
128	1584,1588,1592,1596,1600,1604,1608,1612,1616,1620,1624,1628,1632,1636,
129	1640,1644,1648,1652,1656,1660,1664,1668,1672,1676,1680,1684,1688,1692,
130	1696,1700,1704,1708,1712,1716,1720,1724,1728,1732,1736,1743,1751,1760,
131	1791,1823,1856,1919,1983,2048};

Listing A.4:6 ヒストグラムに対応したビンニング

```
/*
1
2
   * msp_rebin210130.c
3
   *
   * Created on: 30 Jan. 2021
4
   * Author: Takuma Yamaguchi
5
   *
6
7
   */
8
9 #include <stdint.h>
10
11 #define HISTO_ADDR (0x50030000)
12 #define HISTO_LEN (24832)
13 #define HISTO_NUM_BINS_GW ( 2048)
  #define HISTO_HDR_NUM_BYTES ( 256)
14
15
16 static unsigned char send_data_payload[HISTO_LEN]="";
  unsigned short int *table;
17
18
  unsigned short int table1[1025] = {0,1,2,3,4,5,6,7,8,9,10,11,12,13,14,15,16,17,
19
          18,19,20,21,22,23,24,25,26,27,28,29,30,31,32,33,34,35,36,37,38,39,40,
20
          41,42,43,44,45,46,47,48,49,50,51,52,53,54,55,56,57,58,59,60,61,62,63,
21
          64,65,66,67,68,69,70,71,72,73,74,75,76,77,78,79,80,81,82,83,84,85,86,
22
          87,88,89,90,91,92,93,94,95,96,97,98,99,100,101,102,103,104,105,106,107,
23
          108,109,110,111,112,113,114,115,116,117,118,119,120,121,122,123,124,
24
          125,126,127,128,129,130,131,132,133,134,135,136,137,138,139,140,141,
25
          142,143,144,145,146,147,148,149,150,151,152,153,154,155,156,157,158,
26
          159,160,161,162,163,164,165,166,167,168,169,170,171,172,173,174,175,
27
          176,177,178,179,180,181,182,183,184,185,186,187,188,189,190,191,192,
28
          193,194,195,196,197,198,199,200,201,202,203,204,205,206,207,208,209,
29
          210,211,212,213,214,215,216,217,218,219,220,221,222,223,224,225,226,
30
          227, 228, 229, 230, 231, 232, 233, 234, 235, 236, 237, 238, 239, 240, 241, 242, 243,
31
32
          244,245,246,247,248,249,250,251,252,253,254,255,256,257,258,259,260,
          261, 262, 263, 264, 265, 266, 267, 268, 269, 270, 271, 272, 273, 274, 275, 276, 277,
33
          278,279,280,281,282,283,284,285,286,287,288,289,290,291,292,293,294,
34
```

35	295,296,297,298,299,300,301,302,303,304,305,306,307,308,309,310,311,
36	312,313,314,315,316,317,318,319,320,321,322,323,324,325,326,327,328,
37	329,330,331,332,333,334,335,336,337,338,339,340,341,342,343,344,345,
38	346,347,348,349,350,351,352,353,354,355,356,357,358,359,360,361,362,
39	363,364,365,366,367,368,369,370,371,372,373,374,375,376,377,378,379,
40	380,381,382,383,384,385,386,387,388,389,390,391,392,393,394,395,396,
41	397,398,399,400,401,402,403,404,405,406,407,408,409,410,411,412,413,
42	414,415,416,417,418,419,420,421,422,423,424,425,426,427,428,429,430,
43	431,432,433,434,435,436,437,438,439,440,441,442,443,444,445,446,447,
44	448,449,450,451,452,453,454,455,456,457,458,459,460,461,462,463,464,
45	465,466,467,468,469,470,471,472,473,474,475,476,477,478,479,480,481,
46	482,483,484,485,486,487,488,489,490,491,492,493,494,495,496,497,498,
47	499,500,501,502,503,504,505,506,507,508,509,510,511,512,514,516,518,
48	520, 522, 524, 526, 528, 530, 532, 534, 536, 538, 540, 542, 544, 546, 548, 550, 552,
49	554,556,558,560,562,564,566,568,570,572,574,576,578,580,582,584,586,
50	588,590,592,594,596,598,600,602,604,606,608,610,612,614,616,618,620,
51	622,624,626,628,630,632,634,636,638,640,642,644,646,648,650,652,654,
52	656,658,660,662,664,666,668,670,672,674,676,678,680,682,684,686,688,
53	690.692.694.696.698.700.702.704.706.708.710.712.714.716.718.720.722.
54	724,726,728,730,732,734,736,738,740,742,744,746,748,750,752,754,756,
55	758,760,762,764,766,768,770,772,774,776,778,780,782,784,786,788,790,
56	792,794,796,798,800,802,804,806,808,810,812,814,816,818,820,822,824,
57	826,828,830,832,834,836,838,840,842,844,846,848,850,852,854,856,858,
58	860,862,864,866,868,870,872,874,876,878,880,882,884,886,888,890,892,
59	894,896,898,900,902,904,906,908,910,912,914,916,918,920,922,924,926,
60	928,930,932,934,936,938,940,942,944,946,948,950,952,954,956,958,960,
61	962,964,966,968,970,972,974,976,978,980,982,984,986,988,990,992,994,
62	996,998,1000,1002,1004,1006,1008,1010,1012,1014,1016,1018,1020,1022,
63	1024,1028,1032,1036,1040,1044,1048,1052,1056,1060,1064,1068,1072,1076,
64	1080,1084,1088,1092,1096,1100,1104,1108,1112,1116,1120,1124,1128,1132,
65	1136,1140,1144,1148,1152,1156,1160,1164,1168,1172,1176,1180,1184,1188,
66	1192, 1196, 1200, 1204, 1208, 1212, 1216, 1220, 1224, 1228, 1232, 1236, 1240, 1244,
67	1248,1252,1256,1260,1264,1268,1272,1276,1280,1284,1288,1292,1296,1300,
68	1304,1308,1312,1316,1320,1324,1328,1332,1336,1340,1344,1348,1352,1356,
69	1360, 1364, 1368, 1372, 1376, 1380, 1384, 1388, 1392, 1396, 1400, 1404, 1408, 1412,
70	1416,1420,1424,1428,1432,1436,1440,1444,1448,1452,1456,1460,1464,1468,
71	1472, 1476, 1480, 1484, 1488, 1492, 1496, 1500, 1504, 1508, 1512, 1516, 1520, 1524,
72	1528, 1532, 1536, 1540, 1544, 1548, 1552, 1556, 1560, 1564, 1568, 1572, 1576, 1580,
73	1584, 1588, 1592, 1596, 1600, 1604, 1608, 1612, 1616, 1620, 1624, 1628, 1632, 1636,
74	1640, 1644, 1648, 1652, 1656, 1660, 1664, 1668, 1672, 1676, 1680, 1684, 1688, 1692,
75	1696,1700,1704,1708,1712,1716,1720,1724,1728,1732,1736,1740,1744,1748,
76	1752, 1756, 1760, 1764, 1768, 1772, 1776, 1780, 1784, 1788, 1792, 1796, 1800, 1804,
77	1808, 1812, 1816, 1820, 1824, 1828, 1832, 1836, 1840, 1844, 1848, 1852, 1856, 1860,
78	1864, 1868, 1872, 1876, 1880, 1884, 1888, 1892, 1896, 1900, 1904, 1908, 1912, 1916.
79	1920, 1924, 1928, 1932, 1936, 1940, 1944, 1948, 1952, 1956, 1960, 1964, 1968, 1972.
80	1976, 1980, 1984, 1988, 1992, 1996, 2000, 2004, 2008, 2012, 2016, 2020, 2024, 2028.
81	2032.2036.2040.2044.2048}:
	,,,,,,,,_,_,,_,,,,,,,

83	unsigned short int table2[129] = {0,1,2,3,4,5,6,7,8,9,10,11,12,13,14,15,16,17,
84	18,19,20,21,22,23,24,25,26,27,28,29,30,31,32,34,36,38,40,42,44,46,48,
85	50,52,54,56,58,60,62,64,68,72,76,80,84,88,92,96,100,104,108,112,116,
86	120, 124, 128, 136, 144, 152, 160, 168, 176, 184, 192, 200, 208, 216, 224, 232, 240,
87	248,256,272,288,304,320,336,352,368,384,400,416,432,448,464,480,496,
88	512,544,576,608,640,672,704,736,768,800,832,864,896,928,960,992,1024,
89	1088,1152,1216,1280,1344,1408,1472,1536,1600,1664,1728,1792,1856,1920,
90	1984,2048};
91	
92	unsigned short int table3[956]={0,1,2,3,4,5,6,7,8,9,10,11,12,13,14,15,16,17,18,
93	19,20,21,22,23,24,25,26,27,28,29,30,31,32,33,34,35,36,37,38,39,40,41,
94	42,43,44,45,46,47,48,49,50,51,52,53,54,55,56,57,58,59,60,61,62,63,64,
95	65,66,67,68,69,70,71,72,73,74,75,76,77,78,79,80,81,82,83,84,85,86,87,
96	88,89,90,91,92,93,94,95,96,97,98,99,100,101,102,103,104,105,106,107,
97	108,109,110,111,112,113,114,115,116,117,118,119,120,121,122,123,124,
98	125,126,127,128,129,130,131,132,133,134,135,136,137,138,139,140,141,
99	142,143,144,145,146,147,148,149,150,151,152,153,154,155,156,157,158,
100	159,160,161,162,163,164,165,166,167,168,169,170,171,172,173,174,175,
101	176,177,178,179,180,181,182,183,184,185,186,187,188,189,190,191,192,
102	193,194,195,196,197,198,199,200,201,202,203,204,205,206,207,208,209,
103	210,211,212,213,214,215,216,217,218,219,220,221,222,223,224,225,226,
104	227,228,229,230,231,232,233,234,235,236,237,238,239,240,241,242,243,
105	244,245,246,247,248,249,250,251,252,253,254,255,256,257,258,259,260,
106	261,262,263,264,265,266,267,268,269,270,271,272,273,274,275,276,277,
107	278,279,280,281,282,283,284,285,286,287,288,289,290,291,292,293,294,
108	295,296,297,298,299,300,301,302,303,304,305,306,307,308,309,310,311,
109	312,313,314,315,316,317,318,319,320,321,322,323,324,325,326,327,328,
110	329,330,331,332,333,334,335,336,337,338,339,340,341,342,343,344,345,
111	346,347,348,349,350,351,352,353,354,355,356,357,358,359,360,361,362,
112	363,364,365,366,367,368,369,370,371,372,373,374,375,376,377,378,379,
113	380,381,382,383,384,385,386,387,388,389,390,391,392,393,394,395,396,
114	397,398,399,400,401,402,403,404,405,406,407,408,409,410,411,412,413,
115	414,415,416,417,418,419,420,421,422,423,424,425,426,427,428,429,430,
116	431,432,433,434,435,430,437,438,439,440,441,442,443,444,445,440,447,
117	448,449,450,451,452,453,454,455,456,457,458,459,460,461,462,463,464,
118	
119	
120	499,500,501,502,503,504,503,500,507,508,509,510,511,512,514,510,510,
121	520, 522, 524, 520, 520, 530, 552, 534, 530, 530, 540, 542, 544, 540, 540, 550, 552, 554
122	588 500 502 504 506 508 600 602 604 606 608 610 612 614 616 618 620
125	622 624 626 628 630 632 634 636 638 640 642 644 646 648 650 652 654
124	656 658 660 662 664 666 668 670 672 674 676 678 680 682 684 696
125	
120	794 796 798 730 739 734 736 738 740 749 744 746 749 750 759 754 756
12/	758 760 762 764 766 768 770 772 774 776 778 780 780 780 784 786 789 700
120	792 794 796 798 800 802 804 806 808 810 812 814 816 818 820 822 824
129	826 828 830 832 834 836 838 840 842 844 846 848 850 850 857 854 858
150	

```
860,862,864,866,868,870,872,874,876,878,880,882,884,886,888,890,892,
131
           894,896,898,900,902,904,906,908,910,912,914,916,918,920,922,924,926,
132
           928,930,932,934,936,938,940,942,944,946,948,950,952,954,956,958,960,
133
           962,964,966,968,970,972,974,976,978,980,982,984,986,988,990,992,994,
134
           996,998,1000,1002,1004,1006,1008,1010,1012,1014,1016,1018,1020,1022,
135
           1024,1028,1032,1036,1040,1044,1048,1052,1056,1060,1064,1068,1072,1076,
136
           1080,1084,1088,1092,1096,1100,1104,1108,1112,1116,1120,1124,1128,1132,
137
           1136,1140,1144,1148,1152,1156,1160,1164,1168,1172,1176,1180,1184,1188,
138
           1192,1196,1200,1204,1208,1212,1216,1220,1224,1228,1232,1236,1240,1244,
139
           1248,1252,1256,1260,1264,1268,1272,1276,1280,1284,1288,1292,1296,1300,
140
           1304, 1308, 1312, 1316, 1320, 1324, 1328, 1332, 1336, 1340, 1344, 1348, 1352, 1356,
141
           1360, 1364, 1368, 1372, 1376, 1380, 1384, 1388, 1392, 1396, 1400, 1404, 1408, 1412,
142
           1416, 1420, 1424, 1428, 1432, 1436, 1440, 1444, 1448, 1452, 1456, 1460, 1464, 1468,
143
           1472, 1476, 1480, 1484, 1488, 1492, 1496, 1500, 1504, 1508, 1512, 1516, 1520, 1524,
144
           1528,1532,1536,1540,1544,1548,1552,1556,1560,1564,1568,1572,1576,1580,
145
           1584, 1588, 1592, 1596, 1600, 1604, 1608, 1612, 1616, 1620, 1624, 1628, 1632, 1636,
146
           1640,1644,1648,1652,1656,1660,1664,1668,1672,1676,1680,1684,1688,1692,
147
           1696,1700,1704,1708,1712,1716,1720,1724,1728,1732,1736,1743,1751,1760,
148
149
           1791,1823,1856,1919,1983,2048};
150
151
152
   unsigned long prep_payload_data(uint8_t *bin_config)
   {
153
       unsigned long i, j, k, len;
154
       uint16_t num_bins;
155
       uint8_t bin_size;
156
157
       uint32_t bin;
158
           uint32_t *histo_data = (uint32_t *)HISTO_ADDR;
159
           /* histogram header into send_data_payload */
160
           for (i=0; i<HISTO_HDR_NUM_BYTES/4; i++) {</pre>
161
                   send_data_payload[i*4 + 1] = histo_data[i] & OxFF;
162
                   send_data_payload[i*4 + 0] = histo_data[i]>>8 & 0xFF;
163
                   send_data_payload[i*4 + 3] = histo_data[i]>>16 & OxFF;
164
                   send_data_payload[i*4 + 2] = histo_data[i]>>24 & 0xFF;
165
           }
166
           len = HISTO_HDR_NUM_BYTES;
167
168
169
           for (i=0; i<6; i++) {</pre>
                   if (bin_config[i] == 0) {
170
                   /*
171
                    * not re-binning
172
                    */
173
                       num_bins = HISTO_NUM_BINS_GW;
174
                           for (j=0; j<HISTO_NUM_BINS_GW/2; j++) {</pre>
175
                                   send_data_payload[j*4 + 1 + len] = histo_data[j + i*
176
                                       HISTO_NUM_BINS_GW/2 + HISTO_HDR_NUM_BYTES/4] & OxFF;
                                   send_data_payload[j*4 + 0 + len] = histo_data[j + i*
177
```

HISTO\_NUM\_BINS\_GW/2 + HISTO\_HDR\_NUM\_BYTES/4]>>8 & 0 xFF; send\_data\_payload[j\*4 + 3 + len] = histo\_data[j + i\* 178 HISTO\_NUM\_BINS\_GW/2 + HISTO\_HDR\_NUM\_BYTES/4]>>16 & 0 xFF: 179 send\_data\_payload[j\*4 + 2 + len] = histo\_data[j + i\* HISTO\_NUM\_BINS\_GW/2 + HISTO\_HDR\_NUM\_BYTES/4]>>24 & 0 xFF: } 180 len = len + HISTO\_NUM\_BINS\_GW\*2; 181 } 182 /\* Re-binning...\*/ 183 else if (bin\_config[i]<7) {</pre> 184 /\* equal interval binning \*/ 185 num\_bins = HISTO\_NUM\_BINS\_GW>>bin\_config[i]; 186 bin\_size = 1<<bin\_config[i];</pre> 187 188 for (j=0; j<num\_bins; j++) {</pre> bin = 0;189 for (k=j\*bin\_size/2; k<(j+1)\*bin\_size/2; k++) {</pre> 190 bin += (histo\_data[k + i\*HISTO\_NUM\_BINS\_GW/2 + 191 HISTO\_HDR\_NUM\_BYTES/4]>>16 & OxFFFF) +(histo\_data[k + i\*HISTO\_NUM\_BINS\_GW/2 + 192 HISTO\_HDR\_NUM\_BYTES/4] & OxFFFF); } 193 bin >>= bin\_config[i]; 194 send\_data\_payload[j\*2 + 1 + len] = bin & OxFF; 195 send\_data\_payload[j\*2 + len] = (bin>>8) & OxFF; 196 197 } len = len + num\_bins\*2; 198 } 199 else if (10<bin\_config[i] && bin\_config[i]<14) {</pre> 200 /\* logscale binning \*/ 201 unsigned char carry\_over; 202 carry\_over = 0; 203 if (bin\_config[i] == 11) { 204 num\_bins = sizeof (table1)/sizeof (table1[0]) - 1; 205 table = table1; 206 } 207 else if (bin\_config[i] == 12) { 208 num\_bins = sizeof (table2)/sizeof (table2[0]) - 1; 209 table = table2; 210 } 211 else if (bin\_config[i] == 13) { 212 num\_bins = sizeof (table3)/sizeof (table3[0])-1; 213 table = table3; 214 } 215 for (j=0; j<num\_bins; j++) {</pre> 216 bin\_size = \*(table+j+1) - \*(table+j); 217

218	if (carry_over == 0 && bin_size%2 == 0) {
219	carry_over = 0;
220	<pre>for (k=*(table+j)/2; k&lt;*(table+j+1)/2; k++) {</pre>
221	<pre>bin = bin + (histo_data[k + i*</pre>
	HISTO_NUM_BINS_GW/2 + HISTO_HDR_NUM_BYTES
	/4]>>16 & OxFFFF)
222	+ (histo_data[k + i*HISTO_NUM_BINS_GW/2 +
	HISTO_HDR_NUM_BYTES/4] & OxFFFF);
223	}
224	<pre>bin = bin/bin_size;</pre>
225	}
226	<pre>else if (carry_over == 0 &amp;&amp; bin_size%2 == 1) {</pre>
227	carry_over = 1;
228	if (bin_size != 1) {
229	for $(k=*(table+i)/2; k<(*(table+i+1)-1)$
	/2: k++) {
230	bin = bin + (histo data k + i*
	HISTO NUM BINS GW/2 +
	HISTO HDR NUM RYTES/4]>>16 & 0
	xFFFF)
231	+ (histo data[k + i*HISTO NUM BINS GW/2 +
	HISTO HDR NUM BYTES/4] & OxFFFF):
232	
232	}
233	bin = bin + (histo data $[k + i*]$
	HISTO NUM BINS GW/2 +
	HISTO HDR NUM BYTES/4] & $O_{x}FFFF$ ):
235	
236	bin = bin/bin size:
237	}
238	else if (bin size == 1) {
239	k = *(table+i)/2:
240	bin = histo data[k + i*HISTO NUM BINS GW
2.0	/2 + HISTO + HDR NUM BYTES/4] & OxFFFF
	:
241	}
242	}
243	else if (carry over == 1 && bin size%2 == 0) {
244	carry over = 1:
245	k = (*(table+i)-1)/2:
246	bin = histo data $[k + i*HISTO NUM BINS GW/2 +$
	HISTO HDR NUM BYTES/4]>>16 & $0xFFFF$ :
247	for $(k=(*(table+i)+1)/2: k<(*(table+i+1)-1)/2:$
2.7	k++) {
248	$r \rightarrow c$ bin = bin + (histo data[k + i*
	HISTO NUM RINS $CW/2$ + HISTO HOR NUM RVTES
	$/\Delta$ ]>>16 & Overer)
240	+ (bisto data $[k + i*HTGTO MUM RING CW/2 +$
277	· / MIDEO GAGA [K · I. MIDIO MONDIND GW/Z ·

			HISTO_HDR_NUM_BYTES/4] & OxFFFF);
250			}
251			bin = bin + (histo_data[k + i*HISTO_NUM_BINS_GW
			<pre>/2 + HISTO_HDR_NUM_BYTES/4] &amp; OxFFFF);</pre>
252			<pre>bin = bin/bin_size;</pre>
253			}
254			<pre>else if (carry_over == 1 &amp;&amp; bin_size%2 == 1) {</pre>
255			carry_over = 0;
256			k = (*(table+j)-1)/2;
257			<pre>bin = histo_data[k + i*HISTO_NUM_BINS_GW/2 +</pre>
			HISTO_HDR_NUM_BYTES/4]>>16 & OxFFFF;
258			<pre>if (bin_size != 1) {</pre>
259			<pre>for (k=(*(table+j)+1)/2; k&lt;*(table+j+1)</pre>
			/2; k++) {
260			bin = bin + (histo_data[k + i*
			HISTO_NUM_BINS_GW/2 +
			HISTO_HDR_NUM_BYTES/4]>>16 & 0
			xFFFF)
261			+ (histo_data[k + i*HISTO_NUM_BINS_GW/2 +
			HISTO_HDR_NUM_BYTES/4] & OxFFFF);
262			}
263			<pre>bin = bin/bin_size;</pre>
264			}
265			}
266			<pre>send_data_payload[j*2 + 1 + len] = bin &amp; OxFF;</pre>
267			<pre>send_data_payload[j*2 + len] = bin&gt;&gt;8 &amp; OxFF;</pre>
268			<pre>bin = 0;</pre>
269			}
270			<pre>len = len + num_bins*2;</pre>
271		}	
272	}		
273	return	len;	

謝辞

本卒業研究において、高エネルギー宇宙・可視赤外天文学研究室の先生方、先輩方及び同期の仲間たち には多くの手助けをいただきました。誠にありがとうございました。

特に主査の高橋先生には、ソフトウェア開発について多くの知識や技術を教えていただきました。それに 加え、海外チームと研究開発を行うおもしろさにも、気付かせていただきました。本当に感謝しています。 またスウェーデンチームの Thedi には、毎週の会議でソフトウェア開発のアドバイスを多くいただきま した。まだまだ経験の浅い私にもわかりやすい説明で、慣れない英語での報告もサポートしていただけた ことに感謝しています。

最終的にデータ圧縮機能を実装完了できたのは、この他にもいろんな支えがあったからだと強く思いま す。本研究で学んだ知識や技術を今後の研究活動に生かして、精進していきたいと思います。

## 参考文献

- [1] Miniature Student Satellite A project overview.
- [2] Royal InstituteTechnology (スウェーデン王立工科大学). Studentsatelliten mist. https://www.kth.se/ sci/centra/rymdcenter/studentsatellit/studentsatelliten-mist-1.481707.
- [3] Marcus Persson. Software development and quali cation testing of a cubesat x-ray monitor, 2019.
- [4] Theodor Stana. CUBES Instrument Manual.
- [5] Wikipedia. セシウム 137, 2011. https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%82%BB%E3%82%B7%E3%82%A6%
   E3%83%A0137.
- [6] 小山勝二・嶺重慎. シリーズ現代の天文学第8巻 ブラックホールと高エネルギー現象. 日本評論社, 2007.
- [7] 気象庁地磁気観測所. 地磁気の基礎知識. https://www.kakioka-jma.go.jp/knowledge/mg\_bg.html.
- [8] 浜松ホトニクス. Mppcとは.https://www.hamamatsu.com/jp/ja/product/optical-sensors/mppc/ what\_is\_mppc/index.html.
- [9] 佐々木慎一 高エネルギー加速器研究機構放射線科学センター. 放射線計測基礎論, 2011.